

## ■ 会議録

<b>【名称】</b> 第5回 印西市景観計画等策定委員会	<b>【日付】</b> H29.3.02 (木) 10:00~12:00	<b>【出席者（敬称略、名簿順）】</b> 策定委員会委員：木下、斎尾、滝沢、板橋、森田、阿部、金子、浅賀、近藤、下田、吉田(紀)、吉田(亮)、白藤(代理鈴木)、岡田（14名） 事務局：岩井、鈴木(正)、篠原、吉田 コンサルタント(LAU)：吉岡、牧野 傍聴者：1名
<b>【内容】</b> 印西市景観まちづくり基本計画（案）について	<b>【場所等】</b> 印西市農業委員会 会議室	

**【目的】**：印西市景観基本計画策定に向けて、最終案の意見交換を行う。

**【内容・結果】**：1. 議事

(1) 印西市景観まちづくり基本計画（案）について

2. その他（連絡事項）

●次回策定委員会は6月予定しているので、日程等確定次第通知する。

**【配布資料】**：次第

資料1：印西市景観まちづくり基本計画（案）

資料2：景観計画等策定工程表

※別紙次第のとおり進行

### 1. 議事

#### (1) 印西市景観まちづくり基本計画（案）について

□ 資料1『印西市景観まちづくり基本計画』（案）について説明したのち、検討を行った。

■ 検討概要について以下に示す。

#### ①序章～第2章について

（委員）10頁に、縄文時代の表記として、「約1万5千年前」というものがあるが、資料によって異なるがどうなのか。

（事務局）記載内容については、生涯学習課に確認している。諸説あるということは確認している。

（委員）3頁の※に景観の説明を記載しているが、全体に文字が小さくなってしまったのが気になる。8頁の地図に「成田スカイアクセス線」とあるが、「線」は不要ではないか。10頁の「土地の隆起」はそれだけでなく。「海面の低下」も記載すべきではないか。ナウマン像のキャプションは「象」が正しい。中世・近世の記載の中に、「印西牧」のこを入れる必要がある。資料もあるはずである。

（事務局）資料については、使用できるかどうかもあるので、可能であれば掲載したい。

（委員）12頁の①地形・台地景観の中に、湧水の記載を入れてほしい。これは重要である。

（事務局）湧水は重要であると考えているので、書き方を検討したい。

（委員）12頁の②水辺景観の中に、多様な動植物が確認されていることを記載してはどうか。また、希少種が多いことや、問題点となるが外来種もみられることに触れてほしい。

（委員長）海外では、生きものに関するデータやインベントリー（目録）をつくり、何を守るのかを検討し、道路で分断されたところに生きもののトンネルをつくる例などがある。このような、景観と生物を結び付けている計画書は少ない。貴重な指摘である。

（事務局）入れる場所を検討したい。

- (委員) 13頁の③田園・集落景観の中に、竹林の問題や雑木林の荒廃を記載してほしい。
- (委員長) 文の最後の部分に入れることができるのではないかな。
- (委員) 13頁の④特徴的樹木景観の中の巨樹や古木が寺社にあるという記載であるが、民家の屋敷林も加えてほしい。14頁の①歴史・文化景観に、野馬堀や掩体壕を加えてほしい。なくなりつつあるので貴重である。掩体壕は新たに指定文化財になったばかりである。
- (事務局) 野馬堀や掩体壕の遺跡が残っている。
- (委員) 17頁の①眺望景観に、市内の眺望の良い場所として、木下交流の杜広場からの展望を加えてはどうか。
- (委員長) 視点場からの眺めは、その間を妨害することがある。日本の景観行政で遅れている、弱い部分である。そのような景色を守ることが望まれる。
- (委員) 1頁の目的の文に、「市民・事業者との協力・連携」とあるが、ここに市は入らないのか。
- (事務局) 表現を検討したい。市が入ると、「協働」の方がよいかもかもしれない。
- (委員長) 「市・市民・事業者との協働」でも良いのではないかな。
- (委員) 13頁の桜の部分の文章は整理した方が良い。14頁の①歴史・文化景観の文化財の列挙は無形と有形が混在しているので、順番を整理した方が良い。②街道景観の木下街道の「代表する」という表記は気になる。「古くからの脇街道」で良いのではないかな。
- (委員) 32頁の武蔵屋の写真は、木下街道沿いではないのではないかな。また「町屋」は「町家」ではないかな。
- (委員) 15頁の①住宅景観の小林地区の写真のキャプションに「既成市街地」とあるが、そうなのかな。建築協定をメインに出すのであれば、別の表現が良いのではないかな。
- (副委員長) 「既成市街地の住宅地」でも良いのではないかな。

## ②第3章～第4章について

- (副委員長) 35頁の越谷市の写真は、壁や駐車場が目立ってしまい。意図が伝わらないのではないかな。53頁の越谷市の駅前の写真は、賑わいが感じられない。
- (委員) 35頁の写真は、外壁の色彩によって、壁面緑化が引き立っていない。右側の部分だけでも良いのではないかな。
- (委員長) 壁面緑化の写真と切り離し、別の事例としても良いのではないかな。駅前の写真は、小林駅のパラソルの写真でも良いのではないかな。
- (事務局) 差し替えを検討したい。
- (副委員長) 53頁の浦安市の写真は、壁面緑化もわかりにくい。
- (委員) 40頁のエノキの写真のキャプションには、「現在は倒木」などと記載してはどうか。「ぼっち」はわかりにくいので、「落花生のぼっち」とした方が良い。41頁のイメージ図の中の柵に違和感を覚える。とった方が良いのではないかな。42頁の「将監のオニバス」のキャプションに、「現在は確認されていない」などと断りを入れてはどうか。
- (事務局) 検討したい。
- (委員) 43頁のイメージ図は里山のイメージなので、ペリカンではなく、サギかツバメを入れた方が良い。

(事務局) イメージ図は差し替えたい。

(委員) 50頁の写真の「こぶ白鳥」は「コブハクチョウ」と記載すべきである。

(副委員長) 51頁のイメージ図は、水辺景観の項目であるので、建物は無個性にするか、色彩を薄くするなど抑えた方が良い。

### ③第5章について

(委員) 68頁の中に、里山に関する記載を入れてほしい。たとえば、一番上の枠内の「地域の自然や・・・」を「地域の里山自然や・・・」とするなど考えられる。

(委員長) 例示として入れてはどうか。関連して、68頁の中に、教育に関する取り組みを入れてはどうか。学校教育の中で景観教育を進めることが考えられないか。学校教育との連携が考えられる。

(事務局) 65頁に教育関連のことを整理しているが、この頁でも検討したい。

(委員) 夏休みの自然探訪を市と協働で小学生を対象に実施している。このようなことも景観教育の一環であると考えている。

(委員長) 地域のイベントで楽しみ、その中で景観に関心を持つようになることが大切ではないか。啓蒙的なことだけでなく、楽しみながら広がっていく方向性が出せると良いと思う。

(委員長) 修正はあるが、最終案は委員長が確認し、市長に答申することとしたい。

## 2. その他（連絡事項）

- 来年度の予定として、法定の景観計画の策定を予定している。懇談会、庁内幹事会で検討し、策定委員会に諮る。次回の策定委員会は、6月を予定しているので、日程等が確定次第通知する。

## 3. 写真



▲第5回策定委員会の様子1



▲第5回策定委員会の様子2

以上